

旅立ち

社会福祉法人しらとり会
利用者通信（NO. 51）
令和元（2019）年7月1日発行

今月は、5名の方からの投稿です。

謎かけ

・可愛い気の無い子供とかけて

「僕いくつ？」と、訊いたと解く

その心は？ 「個人情報です」

・板前とかけて

裁判員裁判を辞退したと解く

その心は？ 「魚は捌けても、人は裁けないんです」

（岡本 祐子）

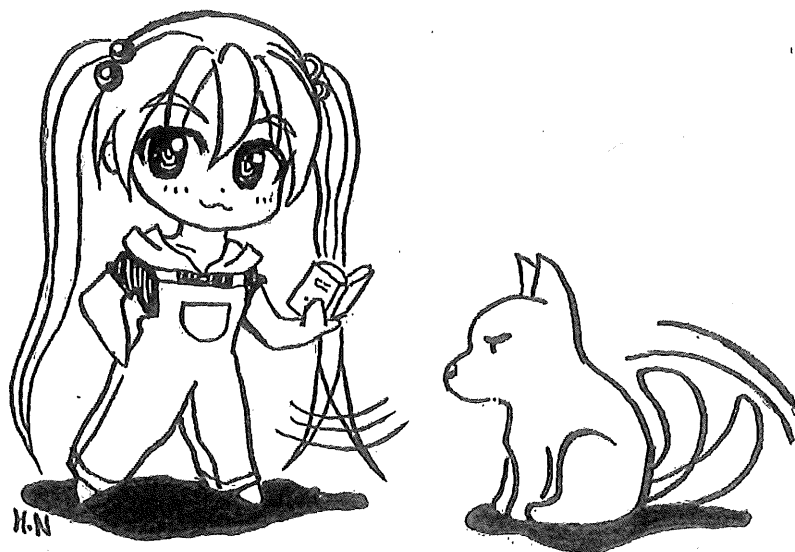


〈後編〉

政治家は国民を守る義務がないのか？現在の憲法の第三条に『国民の権利と義務』があるから、当然のことに政治家にも国民を守る義務がある。

憲法を変えたら中国が文句を言うけど、今の中国は南シナ海で生活していた人間の生活が出来なくなるといいませんか？いくら南京大虐殺を問題にしても、自分さえ良ければいい時代ではなくなる。

（前山繁博）



- 日本は学問国家である。
- 中卒、高卒なら社会で鍛えられて悩まない事を、大卒がくだらない事で悩み教授まで巻き込み、大学挙げての一大プロジェクトになっている。
- 教授の書いたレジメで答えを教えられ、自分で苦しんで答えを導き出す訓練が今の大学にはない。
- 学問ばかりが発達し、人間がついて行けず、現実との整合性がないから、悩み精神疾患にかかる。
- 民法の夫婦間の協力扶助義務も出来ない事を助長している。
- 独身の時は出来ていた事を婚姻する事によって出来なくなる。
- 権力者の存在価値がなくなる防衛策である。

(加藤忠男)

【投稿の募集】

読んでいただいた方からのご感想をお寄せください。

また、利用者の皆様からの投稿をお待ちしています。

次回の締切は、7月16日(火)です。

『旅立ち』編集委員：加藤、本川、A.-Z.、H.A.